



主な内容

- 特集—— 落成を迎えた矢巾新病院
平成30(2018)年度決算
 - トピックス—— 本州で初めての手術支援ロボットによる
経皮的冠動脈形成術(PCI)が行われました
 - フリーページ—— すこやかスポット医学講座No.85
「糖尿病予備群」
- 表紙写真：看護学部第3学年(第1期生)の宣誓式(関連記事p.9)

特集

落成を迎えた矢巾新病院

矢巾新病院建設工事は、本年6月30日に完了し、施工にあたった建築工事・機械設備工事・電気設備工事の各共同企業体より引き渡されました。本稿では写真を交えながら矢巾新病院の建物の概要について紹介します。

■ 矢巾新病院概要と各階施設の紹介

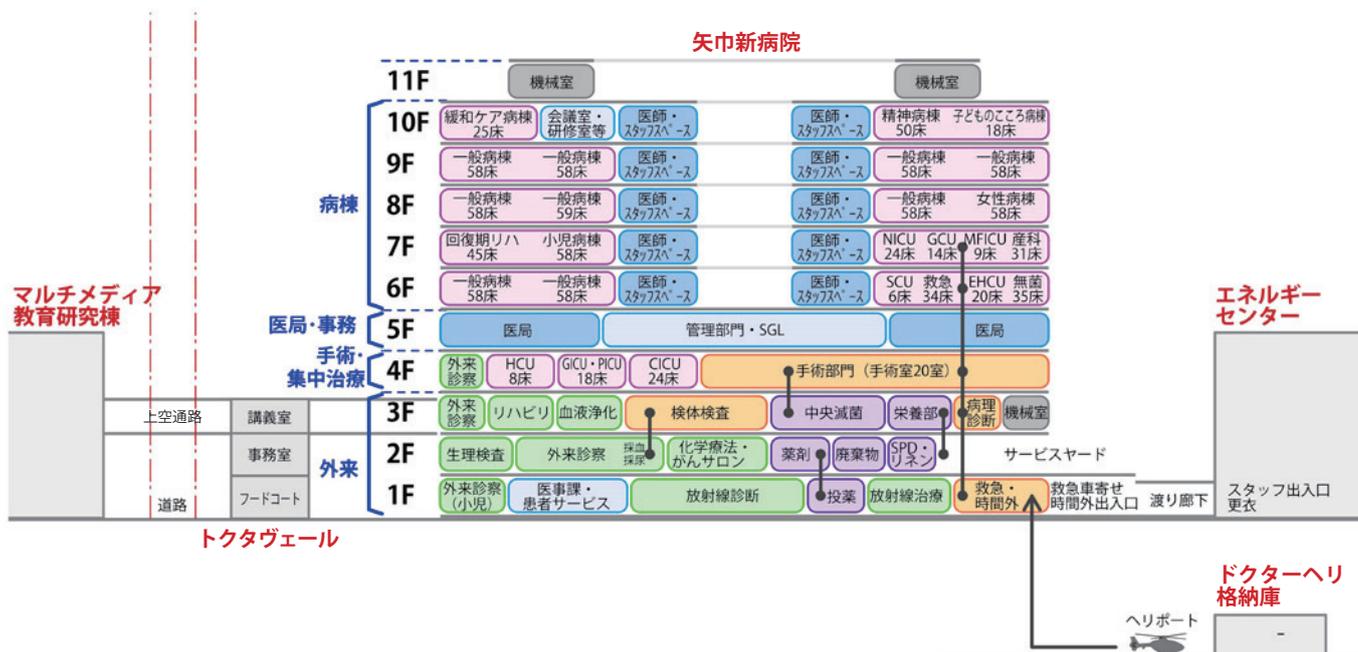
矢巾新病院建物のコンセプト

1. 誰にでもわかりやすく、親しみやすい、安心感のある病院
2. 高度な専門的・先進的医療の変化と成長に対応できる病院
3. 災害時の安心・安全を確保し、省エネに配慮したエコホスピタル
4. 「治療・教育・研究拠点」として入院・治療をトータルコーディネート
5. 街並みの連続性を形成し、地域共存と町づくりを担う病院
6. 学部と連携した連続性を持ちスタッフが働きやすい病院

矢巾新病院概要

所在地／岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号
 敷地面積／158,838.30㎡
 延べ面積／病院本体 86,114.08㎡
 最高高さ／50.80m
 階数／地上11階、地下階なし
 病床数／1,000床
 手術室／20室（24室まで拡張可能）

◆ 部門間の連携を重視した機能的な配置



明るく開放感ある1階

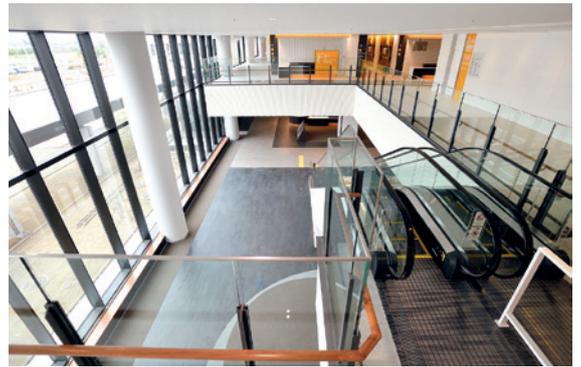
1階 吹抜けラウンジ



1階 エントランス



1階 光庭



吹抜けラウンジ (2階から)

親しみやすく安心感のある快適な空間に

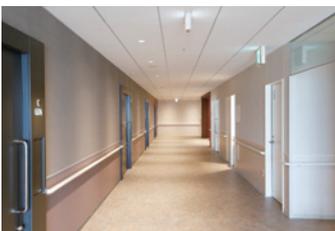
2階 外来受付



2階 外来待合



4床室



病棟廊下



化学療法センター



小児病棟

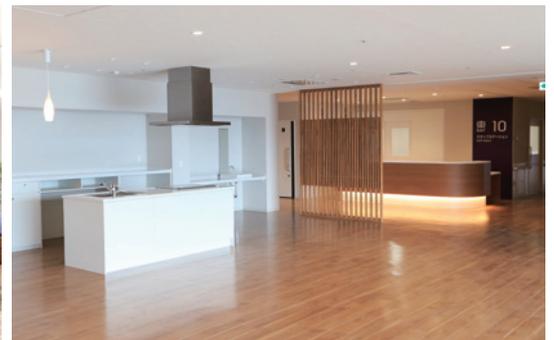


小児病室

緩和ケア病棟ラウンジ



緩和ケア病棟キッチン設備





1 トクタヴェール

矢巾新病院を快適に利用していただくために、コンビニエンスストア・カフェ・フードコートなどを整備

- 延床面積 5,369㎡ ■ 鉄骨造、地上3階建
- 1階：コンビニエンスストア（ローソン）、フードコート、カフェ（タリーズコーヒー、喫茶ギャラリー豆）、ベーカリー（PanoPano）、銀行、ATM、クリーニング（いんペクリーニング）、理・美容室（スヴェンソン）、医療材料（ケア・テック）
- 2階：事務局、学習スペース ■ 3階：講義室、学習スペース

2 コスモス館

調剤薬局、健康増進施設を整備

- 延床面積 1,676㎡
- 鉄骨造、地上2階建
- 1階：調剤薬局、健康増進施設等
- 2階：テナント施設



トクタヴェール1F

- | | |
|-------------|------------|
| ① レストラン | ⑥ ケア・テック |
| ② 銀行 | ⑦ ローソン |
| ③ ATM | ⑧ タリーズコーヒー |
| ④ スヴェンソン | ⑨ 喫茶ギャラリー豆 |
| ⑤ いんペクリーニング | ⑩ パノパノ |
-
- | | |
|---------|----------|
| ■ 男子トイレ | ■ 多目的トイレ |
| ■ 女子トイレ | ■ エレベーター |



3 ホテル ルートイン矢巾-岩手医大病院-

県内最大級、病院敷地内にある利便性の高いホテルです

- 延床面積 7,513㎡
- 鉄骨造、地下1階、地上10階建
- 客室数 300室 (459人)



4 やはば なかよし保育園

本学の教職員が安心して子育てと仕事が両立できる環境づくりに向けて

◆ 大学報編集事務局より

矢巾新病院は約2年3か月にわたる建設工事が完了し、ついに落成を迎えました。矢巾新病院は1,000床・20室の手術室を備える国内最大級規模の病院です。患者さんにやさしい病院というコンセプトのもと、患者さんを中心とした医療スタッフエリアの配置やフリーアドレス制^{*}の外来など様々な工夫が施されています。

現在は医療機器やベット、待合ソファなどの什器・備品などが搬入され、開院の準備が進められています。また、患者さんやスタッフの利便性に配慮したアメニティー施設（トクタヴェール、コスモス館）もオープン間近となっています。次号の大学報では、矢巾新病院落成セレモニーと完成見学会の様子を掲載予定です。

^{*}特定の診療科に紐付けされないこと

学校法人岩手医科大学

平成30(2018)年度決算

平成30年度は、消費税増税や建築資材などの高騰が、附属病院移転計画を含む本学の経営に大きな影響を及ぼしている中、本学は教育・研究・医療の活性化と質的向上を目指し、各事業を推進しました。

創立120周年記念事業関係については、矢巾新附属病院の新築工事を推進するとともに店舗棟新築工事への着手、保育園の整備、また、医療関係では各種高額機器の整備などを行いました。一方で、医療収入などの増収に努め、補助金や研究費などの外部資金の積極的な獲得を図り、財政基盤の更なる強化に努めました。

当期事業活動収支決算は、事業活動収入549億3,563万円から事業活動支出519億6,788万円を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は、29億6,775万円となり、矢巾新附属病院関連等の基本金組入額△66億8,386万円を計上したことにより、当年度収支差額は△37億1,611万円となりました。

1. 事業活動収支

(1) 事業活動収入

事業活動収入の合計額549億3,563万円は、前年度比8億4,969万円(1.6%)増加、予算比では18億2,812万円(3.2%)下回りました。

- ① 学生生徒等納付金83億545万円は、前年度比2億3,271万円(2.7%)減少しました。主な減少要因は、学部の学生数減少および岩手看護短期大学の看護学科の学生募集停止によるものです。
- ② 医療収入367億3,729万円は、前年度比3億7,275万円(1.0%)増加しました。附属病院内科の医療収入は、前年度比3億133万円(1.1%)の増加、歯科医療センターは7,398万円(6.3%)の減少、循環器医療センターは4億8,848万円(7.8%)の増加、花巻温泉病院は3億2,083万円(35.4%)の減少、PET・リニアック先端医療センターは2,225万円(8.0%)の減少となりました。
- ③ 補助金合計額は、58億5,462万円の前年度比9億2,417万円(15.4%)増加しました。教育活動収入の経常費等補助金29億162万円は前年度比4億4,709万円(13.4%)減少し、国庫補助金として私立大学等経常費補助金13億6,040万円、医療研究開発推進事業費補助金(いわて東北メディカル・メガバンク機構)5億2,080万円等、地方公共団体補助金として高度救命救急センター運営費補助金2億5,619万円、岩手県ドクターヘリ運航事業補助金2億4,702万円等がありました。特別収入の施設設備補助金29億5,300万円は前年度比13億7,126万円(86.7%)増加し、地方公共団体補助金として高度救命救急医療等提供拠点整備費補助金(岩手県)23億8,591万円、災害医療体制等整備費補助金(岩手県)2億4,299万円等がありました。

(2) 事業活動支出

事業活動支出の合計額519億6,788万円は、前年度比9億9,286万円(2.0%)増加、予算比では1億3,022万円(0.3%)下回りました。

- ① 人件費224億4,007万円は、前年度比5億6,945万円(2.6%)増加しました。給与、賞与、所定福利費の合計209億7,628万円は、前年度比5億2,312万円(2.5%)増加し、退職金と退職給与引当金繰入額の合計14億487万円は、前年度比4,632万円(3.4%)増加しました。
- ② 医療経費160億6,079万円は、前年度比6億7,092万円(4.4%)増加しました。医薬品費は、前年度比2億8,720万円(3.6%)の増加、医療材料費は3億8,917万円(5.4%)の増加、給食材料費は546万円(2.4%)減少しました。医療収入に対する医療経費割合は43.7%となり、前年度より1.4%増加しました。
- ③ 消耗品費8億5,432万円は、前年度比2,144万円(2.6%)増加しました。
- ④ 光熱水費は、重油料3億3,027万円、ガス料1,963万円、電気料7億863万円、水道料1億7,162万円、合計12億3,015万円となり前年度比7,289万円(6.3%)増加しました。
- ⑤ 修繕費は、施設修繕費1億3,469万円、機器備品修繕費1億9,447万円、合計3億2,916万円となり前年度比1,509万円(4.4%)減少しました。
- ⑥ 業務委託費38億9,321万円は、前年度比4,450万円(1.1%)減少しました。病院別では、附属病院内科21億3,306万円、歯科医療センター1億3,042万円、循環器医療センター3億3,730万円、花巻温泉病院1億1,976万円、その他11億7,267万円です。
- ⑦ 減価償却額30億7,946万円は、前年度より2億8,582万円減少しました。
- ⑧ その他の諸経費等は28億9,854万円となりました。主な内訳は、福利費1億9,612万円(学生福利費3,076万円、職員福利費1億6,536万円)、公租公課1億8,570万円(消費税1億3,004万円、法人税・事業税3,243万円、固定資産税・都市計画税1,943万円等)です。
- ⑨ 借入金利息により800万円を計上しました。
- ⑩ 資産処分差額3億5,718万円は、耐用年数が経過した資産未償却額の除却等です。

2. 資本収支

(1) 資産の部

- ①施設関係支出262億8,013万円は、建物3,107万円、矢巾新附属病院整備工事費の建設仮勘定261億2,191万円等です。
- ②設備関係支出7億6,302万円は、教育研究用機器備品6億7,978万円等です。
- ③矢巾新附属病院の移転事業資金では、資産運用支出20億10万円のうち20億円を第2号基本金引当特定資産として積み立てました。また、その他の収入232億5,715万円は第2号基本金引当特定資産から取り崩した133億2,726万円を含んでいます。
- ④流動資産302億95万円のうち、貯蔵品残高は、年度末に棚卸を行い調査した在庫分であり、医薬品・医療材料5億6,032万円、歯科貴金属410万円、合計5億6,442万円です。

(2) 負債、純資産の部

- ①固定負債は117億620万円となり、主に退職給与引当金残高の116億7,226万円です。
- ②流動負債は210億1,780万円となり、主に矢巾新附属病院の移転事業に係る未払い金119億8,098万円および平成30年10月の建築工事費用(第3回出来高払い)に充当するための短期借入40億円です。
- ③基本金は66億8,386万円を組入れし、1,278億7,821万円となりました。
- ④当年度収支差額△37億1,611万円と前年度繰越収支差額△281億8,013万円を合計した翌年度繰越収支差額は、△318億9,624万円となりました。
- ⑤純資産の部合計(基本金+繰越収支差額)は、前年度より29億6,775万円増加し、959億8,196万円となりました。
- ⑥平成30年度末現在で作成する財産目録純資産額(資産総額-負債総額)は959億8,196万円です。

平成30年度 事業活動収支計算書

(単位：千円)

| 区分 | 収入の部 | | 支出の部 | |
|---------|-----------------|-------------------|--------------------|-------------------|
| | 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 教育活動収支 | 学生生徒等納付金 | 8,305,457 | 人件費 | 22,440,069 |
| | 手数料 | 222,089 | 医療経費 | 16,060,797 |
| | 医療収入 | 36,737,286 | 消耗品費 | 854,315 |
| | 寄付金 | 965,387 | 光熱水費 | 1,230,151 |
| | 経常費等補助金 | 2,901,615 | 修繕費 | 329,156 |
| | 付随事業収入 | 1,423,364 | 業務委託費 | 3,893,209 |
| | 雑収入 | 995,948 | 減価償却額 | 3,079,458 |
| | | その他の諸経費等 | 2,898,541 | |
| | 教育活動収入計 | 51,551,146 | 教育活動支出計 | 50,785,696 |
| 教育活動外収支 | 受取利息配当金 | 7,117 | 借入金等利息 | 7,998 |
| | 教育活動外収入計 | 7,117 | 教育活動外支出計 | 7,998 |
| 特別収支 | その他の特別収入 | 3,377,367 | 資産処分差額 | 357,184 |
| | | | その他の特別支出 | 817,000 |
| | 特別収入計 | 3,377,367 | 特別支出計 | 1,174,184 |
| | 事業活動収入合計 | 54,935,630 | 事業活動支出合計 | 51,967,878 |
| | 基本金組入額合計 | | △ 6,683,864 | |
| | 当年度収支差額 | | △ 3,716,112 | |

平成30年度 資金収支計算書

(単位：千円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|---------------|-------------------|---------------|-------------------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 学生生徒等納付金収入 | 8,305,457 | 人件費支出 | 22,552,096 |
| 手数料収入 | 222,089 | 諸経費支出 | 25,265,045 |
| 寄付金収入 | 1,356,943 | 借入金等利息支出 | 7,998 |
| 補助金収入 | 5,854,615 | 施設関係支出 | 26,280,129 |
| 付随事業収入 | 1,423,364 | 設備関係支出 | 763,019 |
| 医療収入 | 36,737,286 | 資産運用支出 | 2,000,100 |
| 受取利息・配当金収入 | 7,117 | その他の支出 | 12,056,594 |
| 雑収入 | 996,057 | 資金支出調整勘定 | △ 15,019,703 |
| 借入金等収入 | 4,000,000 | 翌年度繰越支払資金 | 18,537,435 |
| 前受金収入 | 1,446,327 | | |
| その他の収入 | 23,257,148 | | |
| 資金収入調整勘定 | △ 12,436,298 | | |
| 前年度繰越支払資金 | 21,272,608 | | |
| 収入の部合計 | 92,442,713 | 支出の部合計 | 92,442,713 |

貸借対照表 (平成31年3月31日)

(単位：千円)

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|---------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 固定資産 | 98,505,015 | 固定負債 | 11,706,197 |
| 有形固定資産 | 88,251,414 | 流動負債 | 21,017,802 |
| 特定資産 | 9,988,501 | 負債の部合計 | 32,723,999 |
| その他の固定資産 | 265,100 | 純資産の部 | |
| 流動資産 | 30,200,950 | 基本金 | 127,878,208 |
| | | 繰越収支差額 | △ 31,896,242 |
| | | 純資産の部合計 | 95,981,966 |
| 資産の部合計 | 128,705,965 | 負債及び純資産の部合計 | 128,705,965 |

感染対策講習会が行われました

令和元年度感染対策講習会が6月4日（火）から13回（録画映像による開催を含む）にわたり岩手医科大学講堂で行われ、教職員延べ2,131名が参加しました。

講習会では、東京慈恵会医科大学附属病院・感染対策部副部長の美島路恵氏（感染管理認定看護師）を講師に迎え、「Teamで取り組む耐性菌対策」と題して講演が行われました。

参加者は院内感染のリスクや正しい手指衛生、良好なチームワーク形成の方法などについて理解を深めました。



ウェルカム2019が行われました

6月14日（金）、歯科医療センターにおいて、歯と口の健康週間にちなんだイベント「ウェルカム2019～いつまでも 続くけんこう 歯の力～」が行われました。

イベントでは、各診療科によるパネル展示、歯科材料（石膏）を用いた人形のプレゼント、唾液測定によるストレスチェック、歯科用CAD/CAM*の体験コーナーなどが設けられ、一般市民の方々や教職員が歯の健康に関する知識を深める機会となりました。

*コンピュータによる歯冠修復物や口腔インプラント等の設計・製作



本州で初めての手術支援ロボットによる経皮的冠動脈形成術 (PCI) が行われました

6月12日（水）、本学附属病院循環器医療センターにおいて、国内3・4例目（本州では初）の手術支援ロボットを用いた経皮的冠動脈形成術 (PCI) が行われました。



PCIとは、プラーク（動脈血管内の蓄積物）等により狭窄した心臓の冠動脈を拡張し、血流の増加をはかる治療法で虚血性心疾患に対して行われる血管内治療のひとつです。従来は血管にカテーテルを通す手術は医師の手作業で行っていましたが、手術支援ロボットの導入により、ミリ単位の精密な動作が可能となりました。また、術者は大型モニターを見ながら患者さんから離れたコックピット内で操作できるため、術者への放射線被ばくが軽減されます。



本学附属病院は6月18日（火）に循環器医療センター3階研修室において、記者発表会を開催して本件の報告を行いました。今回の手術支援ロボットの導入について、森野循環器医療センター長は「特定機能病院として患者さんに専門的な医療の提供を行えるとともに、最先端の医療技術導入は若手医師のモチベーションにつながる。これからも地域医療の中核としての責務を果たしていきたい」と述べました。



看護学部第3学年（第1期生）の宣誓式が行われました

6月20日（木）、矢巾キャンパス大堀記念講堂において看護学部宣誓式が挙行されました。看護学部宣誓式は、本学看護学部第1期生である第3学年が今年10月から約半年間にわたる臨地実習（領域別実習）を行うにあたり、看護職者を目指す者としての誓いを立てることを目的として開催されました。



看護学部開設後、初めての開催となるこの式では、嶋森看護学部長および佐藤附属病院看護部長から、第3学年の学生一人ひとりへロウソクの灯が授与されたのち、壇上に整列した学生全員による宣誓が行われました。学生自ら考案した看護の道を志す決意の詞が力強く唱和され、会場は大きな拍手に包まれました。

その後、祖父江学長および嶋森看護学部長から、矢巾新病院を中心に行われる実習に向けた激励の言葉等が述べられ、本学教職員をはじめ、第1・2学年の全学生、第3学年のご父兄ら多数の出席者が、新たな決意を胸に歩み始めた第3学年95名の門出を祝福しました。



また、第3学年の学生には、本学父兄会から宣誓式の記念として、かつて本学附属病院で使用したナースキャップの帽章をモチーフに作製した「木の花（桜）バッジ」が贈られました。



矢巾新病院の引渡式及び救急車両贈呈式が挙行されました

7月1日（月）、矢巾新病院1階エントランスにおいて、矢巾新病院引渡式が挙行されました。引渡式では、清水建設・宮城建設共同企業体（建築工事）、ユアテック・興和電設・岩館電気共同企業体（電気設備工事）及び朝日工業社・富士水工業共同企業体（機械設備工事）より本学へ建設工事竣工資料が手渡されました。



小林様（朝日工業社・富士水工業共同企業体）と小川理事長

引き渡しにあたり小川理事長は「約2年3か月にも及び建設工事にご尽力賜り心より感謝いたします。お陰様をもちまして、地域医療の中核を担うにふさわしい素晴らしい建物をつくることができました。ここから9月の開院に向けて本学の総力をあげて準備を行い、地域に根ざした最先端の病院を完成させます」と抱負を述べました。



また、引渡式終了後、矢巾新病院正面玄関において、救急車両贈呈式が行われました。この救急車両は、清水建設株式会社様から救急医療体制の強化と本学附属病院の発展に寄与することを目的として寄贈されました。



左から：橋本様（清水建設・盛岡営業所長）、祖父江学長、小川理事長、山口様（清水建設・東北支店長）、稲川様（清水建設・作業所長）

新任教授の紹介

令和元年5月1日就任

解剖学講座機能形態学分野

藤原 尚樹 (ふじわら なおき)

昭和36年7月1日生
岩手県盛岡市出身



研究テーマ

- ・ 歯根形成メカニズムの解明 - Hertwig 上皮鞘の役割 -

主な著書論文

- ・ インスリン様成長因子 I はマウス臼歯 Hertwig 上皮鞘の断裂と有細胞セメント質形成を促進する (Dent. J. Iwate Med. Univ.43(3), 140-152, 2019)
- ・ Harmine は SMAD1/5/8 のリン酸化を通して臼歯歯根発達を誘導する (Biochem. Biophys. Res. Commun., 494:924-929, 2018)
- ・ 肝細胞成長因子はマウス臼歯歯胚の歯根発達を促進する (J. Period. Res., 47:81-88, 2011)

趣味

昆虫や野草の自然観察 (日本自然保護協会 自然観察指導員)、サイクリング (日本サイクリング協会 サイクリングインストラクター (アクティブ))、軽登山 (トレッキング)

教職員への自己PR

このたび、解剖学講座機能形態学分野の教授を拝命致しました。歯学部の解剖学と共に医学部の臨床解剖実習、看護学部の基礎解剖学も担当しております。各学部の先生のご協力頂きながら、これまでの経験を活かし、それぞれの学部で必要な、かつ学生にとって分かりやすい解剖学教育を常に考えながら、教育に従事していきたいと思っております。また、研究においてはこれまで行ってきた歯根の発生メカニズムの解明をさらに進めたいと考えております。

経歴

昭和59年 筑波大学第二学群生物学類 卒業
昭和61年 岩手大学大学院修士課程 修了
昭和61年4月 岩手医科大学口腔解剖学第二講座 助手
平成17年8月 同 嘱託講師
平成19年7月 同 講師
平成23年4月 岩手医科大学解剖学講座発生生物・再生医学分野 講師 (改組による変更)
平成26年1月 同 准教授
平成30年1月 岩手医科大学解剖学講座機能形態学分野 准教授
令和元年5月 現職

令和元年5月1日就任

医療薬科学講座衛生化学分野

杉山 晶規 (すぎやま あきのり)

昭和39年7月3日生
北海道函館市出身



研究テーマ

- ・ 生活習慣病の発症と進展及び予防に関わる分子機構の解析

主な著書論文

- ・ アンジオスタチンはNF-kB カスケード阻害によってIL-1 β 誘導性 eNOS 発現低下を抑制する (J. Pharmacol. Sci., 129, 200-204, 2015)
- ・ CRIM1 膜タンパク質の減少は E-cadherin の減少と claudin-1 と MMPs の増加を伴って腎癌細胞の遊走・浸潤能を促進する (Biol. Pharm. Bull., 41, 604-611, 2018)
- ・ 複数ある Liver X 受容体 (LXR) は目的に合わせて選択利用される (Biochem. Biophys. Res. Commun., 508, 92-96, 2019)

趣味

旅行

教職員への自己PR

この度、薬学部衛生化学分野の教授を拝命致しました。衛生分野の知識は、薬剤師が親しみやすい街の科学者としてよばれる所以でもあります。学生への教育を通じて幅広い知識をもった薬剤師の育成に努めます。研究面では、他分野、他学部など様々な専門家の先生方と連携させていただき、疾患予防や健康寿命の延伸につながる基礎研究を行い、研究力をもった薬剤師を育て、岩手医科大学の発展に貢献したいと思っております。

経歴

昭和63年 東京理科大学薬学部製薬学科 卒業
平成2年 東京理科大学大学院薬学研究科 修了
平成5年 東京大学大学院薬学系研究科博士課程後期 修了
平成5年 国立がんセンター研究所生物物理部 研究員
平成8年 東京理科大学基礎工学部生物工学科田代研究室 助手
平成15年8月 同 講師
平成15年9月 九州保健福祉大学薬学部薬学科生化学第1講座 講師
平成20年 岩手医科大学薬学部衛生化学講座 准教授
平成30年 岩手医科大学薬学部医療薬科学講座衛生化学分野 准教授
令和元年5月 現職

理事会報告（5月定例－5月27日開催）

1. 2018年度事業報告について
2. 2018年度決算及び監査報告について
3. 附属病院移転に係る長期借入の契約締結について
4. 岩手医科大学医療専門学校の目的変更及び技工学科の廃止について

岩手医科大学医療専門学校歯科技工学科は、平成29年9月開催定例理事会において、平成31年4月に学生募集を停止し、来年3月で閉科することが承認されたことから、当該学科の廃止に向けて、医療専門学校学則について当該学科に関する記載の削除と文言の一部を整理する改正を行うこと、並びに6月に提出が必要な専修学校の目的の変更認可申請及び歯科衛生士学校変更届について審議し、この後開催された評議員会の諮問を経て承認した。

5. 寄附行為の変更について

矢中新病院等の引き渡しに伴い、本法人の主たる事務所の所在地（大学本部の位置を含む）を内丸地区から矢巾地区へ変更し、寄附行為第2条における主たる事務所を「岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号」に変更することについて承認し、この後開催された評議員会の審議により最終決定した。

（施行年月日 2019年7月1日付）

6. 教員の人事について

歯学部 補綴・インプラント学講座摂食・嚥下口腔リハビリテーション学分野 教授
小林 琢也（前 歯学部補綴・インプラント学講座補綴・インプラント学分野 准教授）

（発令年月日 2019年6月1日付）

統合基礎講座 生理学講座病態生理学分野 准教授
黒瀬 雅之（現 新潟大学大学院医歯学総合研究科 助教）
（発令年月日 割愛の状況による）

7. 職員の人事について

学務部次長
佐々木 光章（前 学務部入試センター事務室長）
病院事務部次長（内丸担当）兼ねて 内丸総務課長事務取扱
鎌田 彰裕（前 病院事務部花巻温泉病院事務長）
（発令年月日 2019年7月1日付）

8. いわてこどもケアセンター（診療所）の廃止と
児童精神科外来の新設について

いわてこどもケアセンターについて、現在、震災関連以外でも児童へケアが必要な状況であること、また岩手県から「いわてこどもケアセンター運営事業」の内、「中央診療分」は2019年9月20日で終了となる旨の通知を受け、いわてこどもケアセンター（診療所）を廃止の上、矢巾新病院に児童精神科外来を新設し、ケアが必要なすべての児童が受診できる環境を整備することについて承認した。

9. 木の花会館立体駐車場跡地の賃貸借契約について

木の花会館立体駐車場解体工事完了後の跡地活用について、（株）こずかたサービスに賃貸し、同社において駐車場として整備し運用する計画とすることを承認した。

10. 内丸メディカルセンター開設整備工事の発注について

《岩手医科大学報編集委員》

| | |
|-------|-------|
| 小川 彰 | 佐藤真結美 |
| 影山 雄太 | 菊池 初子 |
| 松政 正俊 | 工藤 正樹 |
| 齋野 朝幸 | 熊谷 佑子 |
| 藤本 康之 | 安保 淳一 |
| 白石 博久 | 佐々木忠司 |
| 成田 欣弥 | 畠山 正充 |
| 遊田由希子 | 藤村 尚子 |
| 佐藤 仁 | 武藤千恵子 |
| 小坂 未来 | 高橋 慶 |
| 藤澤 美穂 | |

編集後記

今月の大学報の特集は「矢巾新病院落成特集」です。各部署では新病院の見学が行われておりますが、実際にみる新病院はいかがでしたでしょうか。私は先日見学した際、新たな職場で働くことができる大きな喜びと大きな期待を抱くと同時に、大きな新病院を前にして圧倒される思いもありました。移転や開業という大事業を前にしてその責務の大きさを痛感しました。これから新病院移転に向けて個人としても組織としても入念な準備を重ねていきたいと思っております。

（編集委員 安保 淳一）

岩手医科大学報 第514号

発行年月日 令和元年7月31日
発行 学校法人岩手医科大学
編集委員長 小川 彰
編集 岩手医科大学報編集委員会
事務局 法人事務部 総務課
紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号
TEL. 019-651-5111（内線5452、5453）
FAX. 019-654-7563
E-mail: kouhou@j.iwate-med.ac.jp
印刷 河北印刷株式会社
盛岡市本町通2-8-7
TEL. 019-623-4256
E-mail: office@kahoku-ipm.jp

スポット医学講座



内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野 教授 石垣 泰

糖尿病予備群

■ 糖尿病と糖尿病予備群

糖尿病予備群は医学用語ではありません。正しくは境界型糖尿病といいます。厚生労働省によると、現在日本では約1000万人の糖尿病の方と同じく1000万人の糖尿病予備群が存在すると言われています。

血糖値は連続的に変化します。糖尿病の病名は診断基準を超えた時点でつけられますが、身体はある日突然糖尿病になるわけではありません。何年もかけてゆっくりと血糖値が上がってきて正常値を上回った状態が「予備群」で、糖尿病に進んでいく通過点です。

■ 検診結果を受けて

表に示すのは予備群も含めた糖尿病の診断にかかわる検査値です。岩手医科大学の健康診断でついでくる「要経過観察」のコメントが、糖尿病予備群の範囲とほぼ合致しています。見て明らかのおとり「要経過観察」は正常ではありませんし、このまま現状維持でいいわけでもありません。危険水域に踏み込んでいることを知らせるwarningであることを意識していただきたいと思います。

■ 糖尿病予備群で注意すること

糖尿病予備群から糖尿病に移行する割合は年に2～9%と高率です。網膜症や腎症といった糖尿病合併症は、血糖値の高さと糖尿病罹病期間に比例するので、通常予備群の段階では認められません。しかし、心筋梗塞などの冠動脈疾患のリスクは予備群の段階から上昇します。

糖尿病予備群では内臓脂肪型肥満（お腹の出た状態）を基盤に、血圧や中性脂肪も上昇していることが多くみられます。こうした状態はメタボリックシンドロームと言われ、わずかであってもお腹が引っ込むことが、血糖値などの低下につながります。このためには、ご飯の盛りを少なくする、遅い夕食は軽めに摂る、休肝日を設ける、菓子類を家や職場に買い置きしない、早歩きで通勤する、できるだけ階段を使うといった明日から始められることを実行しましょう。体重やベルトの位置が良いバロメーターになりますので、毎日体重を測定してノートやスマホに記録することをお勧めします。

| | | HbA1c (%) | 空腹時血糖 (m/dL) | 随時血糖 (m/dL) |
|-------------------|-------|---------------|-------------------------|---------------|
| 正 常 型 | | 6.0 未満 | 110 未満 (100 以上は正常高値) | — |
| 予備群 (境界型) | | 6.0 以上 6.5 未満 | 110 以上 126 未満 | — |
| 糖 尿 病 型 | | 6.5 以上 | 126 以上 | 200 以上 |
| 岩手医科大学 健康診断の基準 | 要経過観察 | 6.0 以上 6.5 未満 | 110 以上 126 未満 | 140 以上 200 未満 |
| | 要 受 診 | 6.5 以上 | 126 以上 | 200 以上 |